

令和 7 年度  
南区地域福祉計画アクションプラン  
地区別計画 評価表

# 目次

- ・新飯田地区 笑顔いっぱい「おたがい様らて」と心が通いあう新飯田 P1
- ・茨曾根地区 笑顔で支え合う 桃の花咲く 茨曾根 P3
- ・庄瀬地区 声かけ会う 話し合う 助け合う 沢山の合（愛）がある庄瀬 P5
- ・小林地区 声かけ合い心をつなぐ 小林地区 P7
- ・白井地区「やろってば！」笑顔で仲良く白井地区 P9
- ・大郷地区 なじらね〜？と声をかけあう大郷地区 P11
- ・鷺巻地区 全員集合！鷺巻地区 ～笑顔の和をひろげよう～ P13
- ・根岸地区 楽しく暮らせる住みよい根岸 P15
- ・大通地区 今つなげよう！大通に安心と思いやりのネットワークを！！ P17
- ・白根地区 広げよう地域の輪 凧の舞うまち しろね P19
- ・味方地区 なじらね ばかい〜ね いきいき ふれあい ささえあい 味方地区 P21
- ・月潟地区 あいさつ 声かけ 思いやり つながりふっとつ 獅子の里 P23

【令和7年度 新飯田地区】第3期南区地域福祉アクションプラン地区別計画評価表<2021~2026>

実績(取り組み内容)			
<b>推進目標1:</b> 支え合いのしくみづくり	該当する活動を実施した場合○	<b>推進目標3:</b> 防災・減災活動への取り組み	該当する活動を実施した場合○
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コミ協主催の移動茶の間の開催 (R7年度は館と古町で実施)</li> <li>・ 高齢者施設からの送迎と会場の協力による地域の茶の間の開催</li> <li>・ 地区社協と自治会協議会による在宅訪問活動</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 白南中学校での防災訓練には保護者の参加が多かった。</li> <li>・ 地区の防災訓練では、生活上での災害時の動きについて、ビデオを見ながら学んだ</li> </ul>	○
<b>推進目標2:</b> 地域活動への住民の参画推進	該当する活動を実施した場合○	<b>推進目標4:</b> 地域のPR	該当する活動を実施した場合○
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 移動茶の間の開催 館の参加者は初めて茶の間に参加される方が多くいた</li> <li>・ ラジオ体操のカードを全戸配布し、小学生と一緒に高齢者も参加していた</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ SNSの活用</li> <li>・ ふおうはあとなどのイベントは隣接地区への周知活動を実施</li> </ul>	○
<b>課題(取り組んでみての)</b>	<b>写真(取組みの様子)</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ イベント開催の募集については、より具体的な内容を伝えられるとよい。</li> <li>・ 年代に応じた呼びかけ方の工夫が必要である。</li> <li>・ 白根高校へボランティア募集を行ったが、別の行事と日程が重なってしまい、残念ながら参加できなかったと聞いた。</li> </ul>	<p>移動茶の間</p> <p>地域の茶の間 てんぐの会</p> <p>ふれあい茶の間</p>		
<b>評価(取組んだことの効果や成果)</b>	<b>新たな地域課題や取り組んだこと</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人が集まりにくい地域と聞いていた館で巡回茶の間を開催したところ、予想以上に好評だった。「地域の茶の間に参加するのは初めて」という声も聞かれた。</li> <li>・ 健康教室の一環として、小学生と一緒にラジオ体操に参加してもらえるよう、ラジオ体操カードを全戸に配布した。大人の参加もあり、地域の中で顔見知りが増えるきっかけとなった。</li> <li>・ イベントの周知には、小学校の学年LINEも活用し、若い世代へ情報を届けることができた。</li> <li>・ QRコードを掲載したことで、参加申し込みがしやすくなるよう工夫できた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新飯田保育園の閉園イベントとして、スカイラントランを実施。</li> <li>・ 新一年生へのお祝い品を届ける際に、地区社協・コミ協・子育て支援に関する情報を併せて提供し、地域活動への参加も呼びかけた。</li> </ul>		
	<b>次年度への引き継ぎ</b>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ チラシへ具体的な内容を掲載、QRコードでの申し込みなどを行う</li> <li>・ ラジオ体操の参加呼びかけを引きつづき実施</li> <li>・ 館での地域の茶の間の開催</li> </ul>		

【地区別計画取り組みにあたっての評価事項】

※地域の皆さんで行った地区別計画推進についての評価となります

<確認日:令和 8 年 2 月 9 日>

No.	評価項目	評価
1	住民参加のもとで、地区別計画に取り組みましたか。	A
2	地区別計画に取り組むにあたり、話し合う場を設けましたか。	A
3	関係機関や団体等と連携、協働しましたか。	A
4	取り組みで、地域住民や関係機関・団体等とつながりが出来たり、活動に広がりがあったりしましたか。	A
5	取り組みに対して、成果があったと思いますか。(関心や理解を深められたか)	A
6	活動前や活動後において、地域住民や関係機関・団体に対し、周知は行いましたか。	A



評価	取り組みに対する評価(目安)
A	達成できている(90%以上)
B	一部達成できている(50%以上)
C	未達成 (50%未満)

<参加者>

コミュニティ協議会:齋藤会長  
 地区社会福祉協議会:小杉会長  
 自治会長協議会:知野会長  
 地域福祉アクションプラン推進委員:寺嶋様  
 センター:米持様  
 支え合いのしくみづくり推進員 :吉村 SC  
 南区社協 :藤田・荏原

計 8 名

【令和7年度 茨曾根地区】第3期南区地域福祉アクションプラン地区別計画評価表<2021~2026>

実績(取り組み内容)			
<b>推進目標1:</b> 支え合いのしくみづくり	該当する活動を実施した場合○	<b>推進目標2:</b> 子ども達を地域で育てる取り組み	該当する活動を実施した場合○
・介護予防を意識した地域のお茶の間の継続。 ・グラウンドゴルフを通じて、介護予防およびフレイル予防を意識した集まりの場を設けることで、参加者同士の顔の見える関係づくりを促進するとともに、地域における見守り機能を果たす取り組みを行った。 ・敬老会を実施し、高齢者が気軽に集い交流できる機会を設けることで、地域住民同士のつながりを深めた。	○	・子どもへ地域防災について勉強会1回実施。 ・茨曾根フェスティバルにて、小学校、PTA などとともに企画、運営を行い、子どもらの自らの地域への親しみ、愛着を持てる機会として実施した。 ・白南中学校2年生を対象とした総合学習に参画し、地域課題の共有や地域の将来像について考える学習の支援を行った。	○
<b>推進目標3:</b> 防災・減災の取り組み	該当する活動を実施した場合○	<b>推進目標4:</b> 情報発信	該当する活動を実施した場合○
・子どもの防災について勉強会1回実施。 ・茨曾根自主防災訓練を実施。自治会ブロック長、各自治会組親、伍長参加。講師も招いて、講義も受講。 ・新規1名女性防災士として受講済。 ・防災啓発事業として白南3地区にて防災啓発講座を実施。防災士会など多様なブースを用意、工夫した。	○	・地域での取り組み、活動を引き続き、コミ協だよりを活用し伝達した。 ・事業(茨曾根フェスティバル等)の若い世代の意見、実践力を活かしSNS(インスタグラム)を活用し、発信を行った。	○
<b>課題(取り組んでみての)</b>		<b>写真(取組みの様子)</b>	
・グラウンドゴルフは個人主体で実施してきたが、事業拡大には自治会の協力と用具確保のための財源確保が必要。 ・自治会単位での地域交流を実施し、事業展開と意識啓発を進める必要。 ・40~70代の地域活動参加を促すため、事業目的を明確にし、生活環境に配慮した働きかけが求められる。 ・茨曾根フェスティバルは外部発信の機会となったが、地域優遇を踏まえた運営方法の検討が必要である。 ・地域の茶の間は担い手不足や世代変化を踏まえ、75歳以上も見据えた運営方法の検討も必要。		茨曾根 フェスティバル 	
			茨曾根自主防災会
<b>評価(取組んだことの効果や成果)</b>		<b>新たな地域課題や取り組んだこと</b>	
・グラウンドゴルフを通じた地域の見守りにつながる効果は確認できた。 ・茨曾根フェスティバルでは、自治会長のみならず、		・取り組んだこと:グラウンドゴルフを活用し、介護予防・フレイル予防と地域の見守りを兼ねた交流の場づくりを行った。	

ママ世代の参画が広がり、企画段階からの協働により、世代間の強みを活かした交流と事業の活性化につながった。 ・SNS を活用した茨曾根地区活動についての情報、魅力発信が図られた。	新たな課題：グラウンドゴルフの拡大に向けた用具の確保のため、財源確保も必要。
	<b>次年度への引き継ぎ</b> ① グラウンドゴルフを活用し、自治会と連携した介護・フレイル予防、交流の促進を図る。 ② 地域や参加者の実情に応じた、持続可能な茶の間運営を支援する。 ③ 茨曾根フェスティバルなどを通じて、多世代交流とそれぞれの強みを活かした次世代育成を進めるとともに、小学校などと連携した官民一体の事業運営を継続する。 ④ 地域内の情報発信を継続し、将来を見据えた課題整理と取り組みを進める

**【地区別計画取り組みにあたっての評価事項】**

※地域の皆さんで行った地区別計画推進についての評価となります


<確認日:令和 8 年1月 19 日>

No.	評価項目	評価
1	住民参加のもとで、地区別計画に取り組みましたか。	A
2	地区別計画に取り組むにあたり、話し合う場を設けましたか。	A
3	関係機関や団体等と連携、協働しましたか。	A
4	取り組みで、地域住民や関係機関・団体等とつながりが出来たり、活動に広がりがあつたりしましたか。	A
5	取り組みに対して、成果があつたと思いますか。(関心や理解を深められたか)	A
6	活動前や活動後において、地域住民や関係機関・団体に対し、周知は行いましたか。	A

評価	取り組みに対する評価(目安)
A	達成できている(90%以上)
B	一部達成できている(50%以上)
C	未達成 (50%未満)

<b>【参加者】</b> 井上コミュニティ協議会 会長、上杉コミュニティ協議会 副会長 (民生委員) 長谷川自治協議会 会長(庚自治会会長)、平野地区社会福祉協議会 副会長(東萱場自治会 会長 南区社協理事) 関根清水自治会 会長、中村上茨自治会 会長 仲野アクションプラン推進委員(自主防災会 会長)吉村 SC 南区社協(荏原、後藤)
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【令和7年度 庄瀬地区】第3期南区地域福祉アクションプラン地区別計画評価表<2021~2026>

実績(取り組み内容)			
<b>推進目標1:</b> 支え合いのしくみづくり	該当する活動を実施した場合○	<b>推進目標2:</b> 若い世代との交流推進	該当する活動を実施した場合○
・なじらね庄瀬 …住民ボランティアによる生活支援サービスの実施(移動支援・買い物代行等) ・コミ協だよりにて地域の茶の間について周知 ・民生委員と自治会長との意見交換会(3月)	○	・『大好きにいがた』白南中2年生総合学習の実施(10月~12月) ・農村公園祭り(8月) ・『よるのがっこう』の開催(8月) ・庄瀬地区文化祭(10月)	○
<b>推進目標3:</b> 防災・減災活動への取り組み	該当する活動を実施した場合○	<b>推進目標4:</b> 組織強化	該当する活動を実施した場合○
・地区総合防災訓練の実施(10月) …庄瀬小学校と合同で実施 ・白南中学校にて、中学生が防災士と一緒に避難所運営訓練を実施	○	・各自治会から保健推進員などを選出してもらうことで、多くの人から地域に関わってもらうことができ、自治会長の負担軽減にもつながっている。 ・健康講座、フォトコン等継続して実施	○
<b>課題(取り組んでみての)</b>		<b>写真(取組みの様子)</b>	
・吉沢医院の閉院にともない、なじらね庄瀬では利用者が増加。協力ボランティアは増えていないので、需要と供給が合わなくなっている。通院支援の相談が多いが、買い物支援(銀行や役所も含む)のニーズもある。利用に慣れてきたこともあり、家族への相談や公共交通機関の利用ができるのではないか?と思われる方からの相談もある。予定の心配をした利用者がボランティアの自宅まで連絡してきたこともあった。		 <p>白南中 防災訓練</p> <p>庄瀬地区 防災訓練</p> <p>広報紙での 茶の間の周知</p>	
<b>評価(取組んだことの効果や成果)</b>		<b>新たな地域課題や取り組んだこと</b>	
・白南中学校の防災訓練では、中学生が防災士と一緒に避難所運営訓練を行った。中学生も避難者役と運営側に分かれて体験。日中は大人が少ない地域なので、中学生にも意識してもらおうきっかけとなった。 ・つながりのできた障がい者就労施設等へ広報紙を送付、地域の情報を発信している。春まつりにも参加予定。ワークセンターまめの木は学童の行事(節分の豆まき)にも参加してもらい、児童と交流することができた。 ・『よるのがっこう』では、世代や地域の枠を超え、運営から携わってもらうことで自発的に地域行事に関わってもらうことができた。		・既存事業を他団体とコラボするなど工夫して、マンネリ化しないように継続していくようにしている。 ・なじらね庄瀬では「認知症の家族が心配」と家族の同行の相談があった。ボランティアによる支援活動であるため、ルールの厳格化が必要。	
		<b>次年度への引き継ぎ</b>	
		・公共交通機関の利用方法等を知ってもらえるような事業を検討する。 ・なじらね庄瀬の利用ルールの確認とボランティア募集の継続。 ・防災訓練では、より地域全体に広がるよう工夫する。	

【地区別計画取り組みにあたっての評価事項】

※地域の皆さんで行った地区別計画推進についての評価となります

<確認日:令和 8年 2月 3日>



No.	評価項目	評価
1	住民参加のもとで、地区別計画に取り組みましたか。	A
2	地区別計画に取り組むにあたり、話し合う場を設けましたか。	A
3	関係機関や団体等と連携、協働しましたか。	A
4	取り組みで、地域住民や関係機関・団体等とつながりが出来たり、活動に広がりがあったりしましたか。	A
5	取り組みに対して、成果があったと思いますか。(関心や理解を深められたか)	A
6	活動前や活動後において、地域住民や関係機関・団体に対し、周知は行いましたか。	A

評価	取り組みに対する評価(目安)
A	達成できている(90%以上)
B	一部達成できている(50%以上)
C	未達成 (50%未満)

<参加者>

庄瀬地区コミュニティ協議会 田中会長  
 庄瀬地区コミュニティ協議会 西山事務局長  
 庄瀬地区社会福祉協議会 藤井会長  
 アクションプラン推進員 古川推進員  
 白南白根第一圏域支え合いのしくみづくり推進員 吉村 SC  
 南区社会福祉協議会 佐藤

【令和7年度 小林地区】第3期南区地域福祉アクションプラン地区別計画評価表<2021~2026>

実績(取り組み内容)			
<b>推進目標1:</b> 支え合いのしくみづくり	該当する活動を実施した場合○	<b>推進目標2:</b> 子どもの健やかな成長を育む取り組み	該当する活動を実施した場合○
・お助け隊こぼやし通信の発行 ・お助け隊スタッフ交流会の開催 ・コミ協や自治会長会で支え合いのしくみづくり啓発 ・「健康ますます元気になります隊」のセミナー継続、健康講座：太極拳を昼夜開催、多世代15名参加があった。 ・地区社協事業での見守り活動や昼食会の継続 ・お助け隊こぼやし中心となり、南区の交通対策として生活支援サミットを開催。担当課より講義を聴講した。	○	・民生委員の登下校見守り活動継続 ・各自治会での多世代交流事業継続 ・ひまわりクラブの運営継続 ・小学校での小林収穫祭の実施。若い担い手「小林新選組」より企画運営や多世代が集う機会として開催 ・新たな子育て支援活動への支援(プレママぶらす)	○
<b>推進目標3:</b> 防災・減災の取り組み	該当する活動を実施した場合○	<b>推進目標4:</b> 情報発信	該当する活動を実施した場合○
・6月防災訓練にて「グリーンリボン(無事を知らせる証)」を配布し、結びつけた。 安否確認を伝える方法として好評であった ・自治会での要支援者の安否確認訓練も同日実施した ・AED講習会や避難所設営も実施した。	○	・コミ協だよりの発行 ・お助け隊通信の発行 地域情報の発信により、お助け隊こぼやしの利用が増える、支援員1名増など、情報発信の効果が見られる ・健康づくりの講座周知も行い、参加を呼び込んだ。	○
<b>課題(取り組んでみての)</b>	<b>写真(取組みの様子)</b>		
・お助け隊こぼやしの活動が活発になるに従い、認知症の方の対応など専門性を必要とする依頼が増え、専門的な支援を受ける前段階の位置づけなど、専門職側との理解、共有することも必要。 ・ふれあい昼食会など、参加する側の人数と支援する側の人数が逆転している。招待する側として参加するだけでなく、みんなで運営していく運営方法など、改めて会の目的も含め検討していく必要性を感じた。前段階を支援していく位置づけと確認している。	小林ふれあい昼食会  小林収穫祭 		
<b>評価(取組んだことの効果や成果)</b>	<b>新たな地域課題や取り組んだこと</b>		
・お助け隊こぼやしでの活動は継続的に行われ、実績も伸びている。情報周知の効果で支援員が1名増えた。 ・「小林収穫祭」など、若い世代がコミ協に参画するようになり、企画運営に携わってくれた。今後も継続し、関わること、仕組み(小林新選組)をつくることで将来の地域活動の担い手につながる活動に期待が高まる。 ・コミ協として、地域の健康づくり啓発に力を入れ、次年度は健康増進に関わる事業を10回以上、運動だけで	・子ども食堂についての相談があり、協議もした。就学前の子どもが対象？ニーズ(生活困窮世帯支援)があるのか、運営面をどうするのかなど検討も必要、時期尚早との判断となった。食堂の形として、全世代交流の場として考えるべきなどの意見もあり。場所の提供へセンターは可能だが、主体形態、事業費も含め課題は多い。		

なく、健康講座、食事、飲酒なども絡め実施したい。	次年度への引き継ぎ
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康づくり事業の継続(10回以上)</li> <li>・お助け隊こぼやしが継続して活動を進めて行くため、意義や目的、支援の明確化など専門職などへ周知し、連携の機会も図る。</li> <li>・ふれあい昼食会など目的の再確認。</li> <li>・子ども食堂について継続検討(あり方、目的、事業運営など)</li> </ul>

【地区別計画取り組みにあたっての評価事項】

※地域の皆さんで行った地区別計画推進についての評価となります

<確認日:令和8年2月13日>


No.	評価項目	評価
1	住民参加のもとで、地区別計画に取り組みましたか。	A
2	地区別計画に取り組むにあたり、話し合う場を設けましたか。	A
3	関係機関や団体等と連携、協働しましたか。	A
4	取り組みで、地域住民や関係機関・団体等とつながりが出来たり、活動に広がりがあったりしましたか。	A
5	取り組みに対して、成果があったと思いますか。(関心や理解を深められたか)	A
6	活動前や活動後において、地域住民や関係機関・団体に対し、周知は行いましたか。	A

評価	取り組みに対する評価(目安)
A	達成できている(90%以上)
B	一部達成できている(50%以上)
C	未達成(50%未満)

<参加者>

真保コミ協会長、西村健康福祉部会長、渡辺自治会協議会長、小林民生委員、小田コミ協参与、青木健康ますます元気になります隊隊長、佐久間お助け隊隊長、泉アクションプラン推進委員、吉村 SC、南区社協荏原、後藤

【令和7年度 臼井地区】第3期南区地域福祉アクションプラン地区別計画評価表<2021~2026>

実績(取り組み内容)		
<b>推進目標1:</b> 交流・仲間づくりができる集まる場がある地区	該当する活動を 実施した場合○	○
・小学校合同防災訓練の実施(6月)…小学生、コミ協役員などが参加。煙テントや水消火器訓練などを実施。 ・臼井多世代交流の開催(10月)…高齢者施設利用者や地域住民が参加し、中学生と一緒にフロアカーリングを行った。 ・狸の婿入り 開催(10月) ・敬老会の開催をするも、参加者は昨年度より減少。従来より参加していた方々の参加はあるが、新しく対象になった方の参加が少ないと思われる。		
<b>推進目標2:</b> ボランティアや地区活動を理解し関心をもてる地区	該当する活動を 実施した場合○	○
・小学校・中学校にてあいさつ運動の実施(年2回) ・支えあいのしくみづくりについて コミ協総務委員会にて自治会長へ支えあいのしくみづくりについて説明 ・花いっぱい運動の開催(年2回) 20名程度の参加者が集まり、花植え作業を行った。 ・草取り清掃事業の実施(6月・9月) 中学生、地域住民が参加して除草作業を実施		
課題(取り組んでみての)	写真(取組みの様子)	
・小学校と合同の防災訓練など防災関係については、役員交代にともない引継ぎ状況について確認が必要。 ・地区の懇談会が開催された際に、施設等の避難補助や民間企業への一時避難場所の協力について行政へ相談したが、その後の確認ができていない。	 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                         小学校                          合同防災訓練                     </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                         アクションプラン                          振り返り会                     </div> </div>	
評価(取組んだことの効果や成果)	新たな地域課題や取り組んだこと	
・あいさつ運動や花いっぱい運動など住民同士のつながりづくりの機会になっているが、開催日のみで終了するのではなく、継続して活動できるような工夫が必要。 ・支えあいのしくみづくりについてコミ協総務委員会で説明したほか、自治会長や自治会の班長に会った際に声かけを行った。 役員が1年で交代になるところが多いので、繰り返し説明を行っていくことが必要。 ・フロアカーリング大会の開催企画を行った。 ・臼井多世代交流では、中学生が高齢者へ声かけを行っていた。	・敬老会などの行事に隣近所の声かけにより参加していたが、自治会等の集まりがなく、顔合わせの機会がないことで、行事への参加者が減少している。	
	<b>次年度への引き継ぎ</b> ・防災の関係について行政や役員の引継ぎ状況について確認を行う。 ・既存の事業(あいさつ運動や花いっぱい運動)について活動の機会を増やすなど検討する。 ・支えあいのしくみづくりについて機会があれば継続して説明を行う。	

【地区別計画取り組みにあたっての評価事項】

※地域の皆さんで行った地区別計画推進についての評価となります

<確認日:令和 8年 2月 16日>

No.	評価項目	評価
1	住民参加のもとで、地区別計画に取り組みましたか。	A
2	地区別計画に取り組むにあたり、話し合う場を設けましたか。	A
3	関係機関や団体等と連携、協働しましたか。	A
4	取り組みで、地域住民や関係機関・団体等とつながりが出来たり、活動に広がりがあったりしましたか。	B
5	取り組みに対して、成果があったと思いますか。(関心や理解を深められたか)	A
6	活動前や活動後において、地域住民や関係機関・団体に対し、周知は行いましたか。	A

評価	取り組みに対する評価(目安)
A	達成できている(90%以上)
B	一部達成できている(50%以上)
C	未達成 (50%未満)

<参加者>

臼井地区コミュニティ協議会会長:小林様  
 アクションプラン推進員:阿部様  
 臼井小学校地域教育コーディネーター:小嶋様  
 支え合いのしくみづくり推進員:川口様  
 南区社会福祉協議会:後藤・佐藤

【令和7年度 大郷地区】第3期南区地域福祉アクションプラン地区別計画評価表<2021~2026>

実績(取り組み内容)			
<b>推進目標1:</b> 支え合いのしくみづくり	該当する活動を実施した場合○	<b>推進目標2:</b> 担い手の育成	該当する活動を実施した場合○
<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食サービス事業…配布時には声かけを行い見守りを実施</li> <li>・友愛訪問事業…今年度より名称変更。災害関連品の配布とともに訪問による見守り支援を実施。</li> <li>・大鷲夜祭(7月)</li> <li>・敬老会(9月)</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生との多世代交流 畑作づくり、収穫体験など</li> <li>1月に実施した親子味噌作りでは30名以上の参加があった。</li> <li>・農家での稲作や梨の収穫体験(小学生)の受け入れ</li> </ul>	○
<b>推進目標3:</b> 災害への取り組み	該当する活動を実施した場合○	<b>写真(取組みの様子)</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大郷・鷲巻合同地域防災教室の開催(11月)</li> <li>・日頃から高齢者や心配な方への声かけを実施</li> <li>・防災訓練(自主防災会)の開催…自治会長等が参加し避難所の備品確認などを実施(3月)</li> </ul>	○	 <p style="text-align: center;">中学生の居場所</p>	
<b>課題(取り組んでみての)</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括支援センターとのつながりづくりについて、敬老会等行事への声かけはできなかった。数年前から地域包括支援センターのチラシ配布もなくなったため、地域包括支援センターを知らない人も多いと思う。</li> <li>・見守り訪問の際に話を聞くと、親戚や隣近所などの助け合いでなんとかなっているとのことだった。検討をしたこともあるが、『助け合いのしくみをつくる』というよりも、『人とのつながりをつくる』『交流の機会をつくる』ほうが地域にあっていると思う。</li> </ul>		 <p style="text-align: center;">大鷲夜祭り 盛り上げ隊</p>  <p style="text-align: center;">小学生との交流 畑作づくり</p>	
<b>評価(取組んだことの効果や成果)</b>		<b>新たな地域課題や取組んだこと</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月開催している地域の茶の間(下大郷)がある。</li> <li>・敬老会では、今年も子どもたちに協力してもらい、祭囃子の発表をしてもらった。参加者からも好評。</li> <li>・大鷲夜祭では、子どもたちからもブース出展してもらった。中学生の居場所を活用し、出店内容の検討や準備を行った。当日も若い世代との多世代交流の機会になっている。</li> <li>・隣近所など地域のつながりがあるため、世帯の状況を把握しているため、声をかけなくても自然と助け合いができている地区もある。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在実施している事業の継続でいっぱいになっている。新しく何かを始めるよりも、既存の事業を工夫して何かできないか検討していくべき。</li> </ul>	
		<b>次年度への引き継ぎ</b>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・安否確認シートを活用し、多くの世帯に参加してもらえるような防災の取り組みについて検討する。</li> <li>・既存の事業を活用し、地域と地域包括支援センターを住民に知ってもらえるような方法を検討する。</li> </ul>	

【地区別計画取り組みにあたっての評価事項】

※地域の皆さんで行った地区別計画推進についての評価となります

<確認日:令和8年2月16日>

No.	評価項目	評価
1	住民参加のもとで、地区別計画に取り組みましたか。	A
2	地区別計画に取り組むにあたり、話し合う場を設けましたか。	A
3	関係機関や団体等と連携、協働しましたか。	A
4	取り組みで、地域住民や関係機関・団体等とつながりが出来たり、活動に広がりがあったりしましたか。	B
5	取り組みに対して、成果があったと思いますか。(関心や理解を深められたか)	A
6	活動前や活動後において、地域住民や関係機関・団体に対し、周知は行いましたか。	A

評価	取り組みに対する評価(目安)
A	達成できている(90%以上)
B	一部達成できている(50%以上)
C	未達成 (50%未満)

<参加者>

大郷地区コミュニティ協議会会長:高橋様  
 大郷地区コミュニティ協議会:滝澤様  
 大郷地区社会福祉協議会会長:遠藤様  
 大郷地区民生委員:富樫様、風間様、中村様  
 主任児童委員:保田様  
 南区社会福祉協議会:佐藤

【令和7年度 鷲巻地区】第3期南区地域福祉アクションプラン地区別計画評価表<2021~2026>

実績(取り組み内容)			
<b>推進目標1:</b> <b>支え合いのしくみづくり</b>	該当する活動を実施した場合○	<b>推進目標4:</b> <b>人材育成・人材確保</b>	該当する活動を実施した場合○
<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員訪問活動</li> <li>・白根保健生活協同組合の講話</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生児童委員と管轄地域の自治会長並びにコミ協役員合同情報交換会の開催</li> </ul>	○
<b>推進目標2:</b> <b>交流の機会の創出</b>	該当する活動を実施した場合○	<b>推進目標5:</b> <b>安心・安全な地域づくりの推進</b>	該当する活動を実施した場合○
<ul style="list-style-type: none"> <li>・桜・灯ろう祭りの開催</li> <li>・健康スマイルウォーキング</li> <li>・大鷲夜まつりの開催</li> <li>・保育園や地域での世代間交流の実施</li> <li>・はたちの会の開催</li> <li>・コミュニティカフェの開催</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食サービス事業の実施</li> <li>・安心箱配布事業の実施</li> </ul>	○
<b>推進目標3:</b> <b>防災・減災への取り組み</b>	該当する活動を実施した場合○	<b>課題(取り組んでみての)</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大郷、鷲巻地域防災学習の実施</li> <li>・自主防災研修、訓練の実施</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員と自治会長との情報交換会を開催しているが、もう少し、密に情報交換ができるとよい。</li> <li>・12月に実施している給食サービス事業では、自治会長さんにも協力いただき、一人暮らし高齢者の見守りや安否確認を行っているが一人暮らしに関する自治会長さんからの情報が十分ではなく、対象者の把握に漏れが生じている。</li> </ul>	
<b>評価(取組んだことの効果や成果)</b>		<b>写真(取組みの様子)</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・SNSを活用した情報発信により、地区外からの参加にもつながっており、広がりを感じられた。</li> <li>・さまざまな役割を担う中で事業が重なる場面もあったが、その都度どのような事業なのかを説明する機会となり、地域内での理解が深まった。</li> <li>・コミュニティカフェわしのきでは、毎年恒例の企画が好評で、参加者も多く、継続的なにぎわいが生まれている。</li> <li>・大鷲夜祭は大郷地区との連携も進み、大規模なイベントとして盛大に開催することができた。</li> <li>・防災士の方から、発災時における鷲巻地区の危険性について学ぶ機会を設けることができ、とても有意義な取り組みとなった。</li> </ul>			
<b>新たな地域課題や取り組んだこと</b>		<b>次年度への引き継ぎ</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・SNSにおいて、他地区と開催する事業も情報発信を行った。</li> <li>・役員の担う事業が多く、それぞれの理解が進むよう、自分も学び、他の役員へも事業をわかるように話をするようにした。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティカフェだけでなく、地区全体の行事についても積極的に情報発信を行う。SNSの活用や、コミ協だよりでの開催案内・募集案内を充実させ、参加につながる広報を進めていく。</li> <li>・プロジェクターを利用した映写会を公民館と共催できないか提案してみる。</li> <li>・民生委員と自治会長との情報交換会の工夫。</li> </ul>	

【地区別計画取り組みにあたっての評価事項】

※地域の皆さんで行った地区別計画推進についての評価となります

<確認日:令和8年2月6日>

No.	評価項目	評価
1	住民参加のもとで、地区別計画に取り組みましたか。	A
2	地区別計画に取り組むにあたり、話し合う場を設けましたか。	A
3	関係機関や団体等と連携、協働しましたか。	A
4	取り組みで、地域住民や関係機関・団体等とつながりが出来たり、活動に広がりがあったりしましたか。	A
5	取り組みに対して、成果があったと思いますか。(関心や理解を深められたか)	A
6	活動前や活動後において、地域住民や関係機関・団体に対し、周知は行いましたか。	A

評価	取り組みに対する評価(目安)
A	達成できている(90%以上)
B	一部達成できている(50%以上)
C	未達成 (50%未満)

<参加者>

地区社会福祉協議会:宮崎会長

地区コミュニティ協議会兼地域福祉アクションプラン推進委員  
真柄様

川口 SC、南区社協:荏原

計4名

【令和7年度 根岸地区】第3期南区地域福祉アクションプラン地区別計画評価表<2021~2026>

実績(取り組み内容)			
<b>推進目標1:</b> 支え合いのしくみづくり	該当する活動を実施した場合○	<b>推進目標2:</b> 防災・減災の取り組み	該当する活動を実施した場合○
・茶の間、民生委員見守り訪問の継続 ・敬老会も参加しやすいように椅子を用意。ジャズ演奏など参加も多数だった  ・高井東自治会ではゴミ出し支援事業を継続実施。今後も増えることが予測されるが、担い手育成が課題。	○	・10月:小学校と合同で自主防災訓練を開催、消火訓練、AED講習、炊き出し体験を行った。子どもらへ遊びの要素(消火器的あて等)を取り入れ土嚢づくりも行う。子どもや保護者世代も多く参加し防災知識が広まった	○
<b>推進目標3:</b> 若い世代の参画・交流の場推進	該当する活動を実施した場合○	<b>推進目標4:</b> 人材育成・人材確保	該当する活動を実施した場合○
・若い世代が楽しめるあやめ祭りを継続、ブース運営など役員以外の若手もサポートや参加することで、顔見知りの関係構築、いずれ運営するための意識啓発へ促している。  ・4地区合同どんど焼きにも親子連れなど数多くの参加があり、定着化している。	○	・あやめ祭りや自治会活動などを日頃から若い世代の関わり、担い手を意識した関係づくりに努め、消防団、民生委員など新たな若手の関わりも増えた。  ・小学校の福祉教育を継続(4年生主体)、防災訓練や学校PTAも関わり、思いやりの心を育てた	○
<b>推進目標5:</b> 安心・安全な地域づくりの推進	該当する活動を実施した場合○	<b>写真(取組みの様子)</b>	
・各自治会のセーフティスタッフ活動は次世代に継承しながら継続できているが、自治会によっては担い手不足の課題が出ている。  ・認知症の高齢者など、自治会地区によっては顔見知りの関係があり、見守りもできている。  ・自治会によっては単独で認知症サポーター養成講座も実施している。	○	食育推進事業 笹だんご つくり	
<b>課題(取り組んでみても)</b>		根岸地区敬老会	
・地域の人材が若手に移行する中、役員、係などの存在がわからない。名簿一覧表などがあれば、繋がりやすさや地域内の情報共有(関わろうとするきっかけ)も生まれる。 ・自治会によってはセーフティスタッフの担い手不足。 ・高齢独居の方のゴミ出し支援など、必要性は高まっているが、担い手不足のため広報自体も慎重に判断している。			

評価(取組んだことの効果や成果)	新たな地域課題や取組んだこと
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域行事(食推:笹団子づくりなど)を通して若い世代の参加が増え、トラブルが起きた際なども協力的で、地域ぐるみで子どもを育む環境環境構築へ繋がられている。</li> <li>・若い世代の地域役員(消防団員等)への関わりが増えた。</li> <li>・認知症状にて徘徊のため困るなどの相談は現在地域内では聞かれず、見守りも行えている状況。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域内区バス利用率の向上のための検討(ルート変更、区をまたぐなど、生活圏域をみる)</li> <li>・自治会ごとに地域住民が集まる場(お茶の間)ができるとう良い。話し合う場、話を聞く場、出かける場の構築は必要。</li> </ul>
	<b>次年度への引き継ぎ</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域での支え合い活動に関するアンケート結果から、具体的な活動の必要性も含めた検討。</li> <li>・新たな地域のお茶の間、集う場などの機会の確保。</li> <li>・若い世代も含めた地域住民の地域活動への関わり、関わりやすきの工夫。現在行っている事業の継続。</li> <li>・小学校での福祉教育の継続(4年生重点)</li> </ul>

【地区別計画取組みにあたっての評価事項】

※地域の皆さんで行った地区別計画推進についての評価となります

<確認日:令和8年1月29日>

No.	評価項目	評価
1	住民参加のもとで、地区別計画に取り組みましたか。	A
2	地区別計画に取り組むにあたり、話し合う場を設けましたか。	A
3	関係機関や団体等と連携、協働しましたか。	A
4	取組みで、地域住民や関係機関・団体等とつながりが出来たり、活動に広がりがあつたりましたか。	A
5	取組みに対して、成果があつたと思いますか。(関心や理解を深められたか)	A
6	活動前や活動後において、地域住民や関係機関・団体に対し、周知は行いましたか。	A

評価	取組みに対する評価(目安)
A	達成できている(90%以上)
B	一部達成できている(50%以上)
C	未達成(50%未満)

<p>&lt;参加者&gt;  高橋コミ協会長、小布施自治協会長、横山コミ協保健福祉部会長(南区社協理事)  小田高井東自治会長(根岸地区社協会長)、相田根岸自治会長、柴垣高井興野自治会長  小林山崎興野自治会、田中中塩俵自治会長、安藤下塩俵自治会長、金子民生委員、田沢民生委員、  笠原民生委員、渡辺民生委員、若杉主任児童委員、大矢保護司、池田アクションプラン推進委員、  川口SC、南区社協(後藤) 計18名</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【令和7年度 大通地区】第3期南区地域福祉アクションプラン地区別計画評価表<2021~2026>

実績(取り組み内容)			
<b>推進目標1:</b> 地域活動への住民の参画推進	該当する活動を 実施した場合○	<b>推進目標2:</b> 支え合いのしくみづくり	該当する活動を 実施した場合○
・小学4年生向け防災学習、環境美化活動(地域生活センターへ花植え)を実施した。  10月の秋祭りにフードバンク新潟南が参加し、地域課題の啓発やダンス、フリーマーケットを実施し、地域住民約1,000人が参加する多世代交流の企画運営を行った。 ・住みよい里協議会、南区自治協第一部会、大通コミ協と連携し「大通川クリーン作戦」を実施し、親子連れ約40人が参加した。 ・犬のふんを持ち帰りなど、コミ協から回覧板にて美化を呼びかけた。	○	・「思いやりネット」は実施件数・作業内容ともに横ばい。今後は買物・通院等の移動支援の対応と、実働登録者の確保が事業継続の課題。 ・各地域の茶の間の活動充実。「ごきんじょネット」もセンターにおけるチラシや口コミなども功を要し、年3回のイベントを中心に利用者も増加した。 ・「ポッチャ」を小学校、高校など3校で実施。西区・江南区社協の事業も支援した。参加人数は18~20名(女性参加)、大会企画も行うことで、参加者の出かける場、繋がりもできる。幅広くPR、拡大していきたい。	○
<b>推進目標3:</b> 防災・減災の取り組み	該当する活動を 実施した場合○	<b>推進目標4:</b> つながりのある地域づくり	該当する活動を 実施した場合○
・防災講座、防災訓練(6月) ・避難所運営委員会(12月)  ・小学4年生向け防災学習(11月) ・避難所開設訓練(6月) ・避難所4か所ごと(大通小、白根北中、大通保育園、大通センター)にて避難所運営マニュアルを策定した。	○	・敬老会を開催、白根北中吹奏楽部より演奏披露。中学、多世代との連携を図った。 ・子ども食堂運営委員会による子ども食堂の運営も継続。 ・地区社協事業の継続(はじめまして赤ちゃん事業等) ・健康福祉部会による高齢者へフレイル予防の講座(中野小路たかまろによる講話)を実施した。 ・大通1、2、黄金3自治会にて、大通ふれあい公園にてイルミネーションを行い、黄金夏まつりを開催。	○
<b>課題(取り組んでみての)</b>	<b>写真(取組みの様子)</b>		
・包括支援センターとの認知症対応に関する情報交換が必要。自治会内にはコミ協を通し見守り体制を構築すべく情報は伝えている。 ・自治会長らへ新たな地域福祉計画構築に向けた理解、啓発が必要。 ・区内福祉事業所等との災害時連携についての情報交換の検討が必要。 ・地域での見守り、困りごとに対応するうえでの個人情報の取り扱い。	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>防災講座</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>敬老会</p> </div> </div>		

評価(取組んだことの効果や成果)	新たな地域課題や取組んだこと
<p>自治会長や民生委員等との情報交換を継続的に行っている。また、地域包括支援センターによる安心・安全会議において活動紹介を行い、相談先の周知につなげた。</p> <p>・「ごきんじょネット」の継続や健康福祉部会での講演等を通じ、参加者の外出機会の確保および利用促進につながり、結果としてフレイル予防に資する取組みとなった。</p> <p>・「ポッチャ」の活動が拡大することで、地域におけるつながりづくりの構築を担う役割を果たしている。</p>	<p>・新たな課題…自治会単位での活動、情報発信していくことが必要。</p> <p>・新たな取組…新たな事業など特にはないが、継続して充実した活動を行っている。</p>
	次年度への引き継ぎ
	<p>・地域住民に向け、令和9年度地域福祉活動計画を策定していくことを周知、理解を求めていくことが必要。</p> <p>・地域包括支援センターへ大通地区について知ってもらう(事業、取組み等)</p> <p>・災害時対応における地域の状況と社会資源(高齢者施設等)との情報の共有。</p> <p>・クリーン作戦を大通全域に広げ、環境整備と住民同士、顔の見える関係の構築に繋げる。</p>

【地区別計画取組みにあたっての評価事項】

※地域の皆さんで行った地区別計画推進についての評価となります

<確認日:令和8年1月22日>

No.	評価項目	評価
1	住民参加のもとで、地区別計画に取り組みましたか。	A
2	地区別計画に取り組むにあたり、話し合う場を設けましたか。	A
3	関係機関や団体等と連携、協働しましたか。	A
4	取組みで、地域住民や関係機関・団体等とつながりが出来たり、活動に広がりがあったりしましたか。	A
5	取組みに対して、成果があったと思いますか。(関心や理解を深められたか)	A
6	活動前や活動後において、地域住民や関係機関・団体に対し、周知は行いましたか。	A

評価	取組みに対する評価(目安)
A	達成できている(90%以上)
B	一部達成できている(50%以上)
C	未達成(50%未満)

<p>&lt;参加者&gt;</p> <p>志賀コミ協会長 棚村地域生活センター長  鈴木自主防災会長 長谷川健康福祉部会長  鞠子高齢者支援の会会長 川口 SC  町屋アクションプラン推進員(地区社協会長) 南区社協(佐藤、後藤)</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【令和7年度 白根地区】第3期南区地域福祉アクションプラン地区別計画評価表<2021~2026>

実績(取り組み内容)			
<b>推進目標1:</b> 支え合いのしくみづくり	該当する活動を実施した場合○	<b>推進目標2:</b> 災害への取り組み	該当する活動を実施した場合○
・白根お互いさま支援隊の活動の継続 …チラシの修正、配布 ・敬老会の開催(10月) ・白根地区社協 ふれあいにここにご昼食会の開催(10月) 配食サービス事業(3月)	○	・南部・北部・中部合同の防災訓練の開催 ・合同防災訓練以外でも、自治会・町内会、連合会ごとに防災訓練等の開催	○
<b>推進目標3:</b> 担い手の育成	該当する活動を実施した場合○	<b>推進目標4:</b> 白根児童センターと地域とのふれあい	該当する活動を実施した場合○
・白根小学校の昔遊び等のボランティアに民生委員や父兄などの住民が参加。	○	・白根児童センター運営会議への参加 ・昨年同様に児童センター開催事業のほか、自治協事業で開催された夏休みの宿題サポート事業への協力	○
<b>課題(取り組んでみての)</b>	<b>写真(取組みの様子)</b>		
・白根お互いさま支援隊への依頼は地域包括支援センターをとおしての相談が多く、周知が足りないように思う。敬老会や配食サービス等で75歳以上の方にチラシを配布する機会はあるが、75歳以下でも支援を必要としている人はいると思うので周知が必要。 ・3地域合同の防災訓練を実施したが、役員の段取りが上手くいかず、参加者から不満の声が聞かれた。役員の役割分担について事前確認が必要。	 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                         白根地区 アクションプラン 打合せ                     </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                         白根お互いさま支援隊 チラシ                     </div> </div>		
<b>評価(取組んだことの効果や成果)</b>	<b>新たな地域課題や取り組んだこと</b>		
・白根お互いさま支援隊のチラシを修正し、敬老会等で配布をした。 ・南部、中部、北部合同で防災訓練を実施。起震車や心臓マッサージを中心に多くの住民に関心を持って参加してもらえるように取り組んだ。 ・砂押町内会や北部の会議で支え合いのしくみづくりや白根お互いさま支援隊の活動について説明を行った。今後も自治会等で話のできる機会があれば周知していく。	・白根第一中学校へ地域行事の参加について令和7年度は声かけができなかったため、8年度は行っていきたいが、中学校でもボランティアクラブがあり、活動を行っているようなので、活動内容を確認する必要がある。		
	<b>次年度への引き継ぎ</b>		
	・白根お互いさま支援隊について、75歳以下の人に知ってもらうための方法についての検討。依頼があった際の体制づくり。 ・学校(小・中・高)へ地域行事の参加について呼びかけるとともに、各校の取り組みについて確認する。		

【地区別計画取り組みにあたっての評価事項】

※地域の皆さんで行った地区別計画推進についての評価となります

<確認日:令和8年2月10日>

No.	評価項目	評価
1	住民参加のもとで、地区別計画に取り組みましたか。	A
2	地区別計画に取り組むにあたり、話し合う場を設けましたか。	A
3	関係機関や団体等と連携、協働しましたか。	B
4	取り組みで、地域住民や関係機関・団体等とつながりが出来たり、活動に広がりがあったりしましたか。	A
5	取り組みに対して、成果があったと思いますか。(関心や理解を深められたか)	A
6	活動前や活動後において、地域住民や関係機関・団体に対し、周知は行いましたか。	B

評価	取り組みに対する評価(目安)
A	達成できている(90%以上)
B	一部達成できている(50%以上)
C	未達成 (50%未満)

<参加者>

白根コミュニティ協議会 和田会長  
 白根コミュニティ協議会 木川様、星野様、  
 武田様、須藤様  
 白根地区社会福祉協議会 日浦会長  
 アクションプラン推進員 長谷川推進員  
 白南白根第一圏域支え合いのしくみづくり推進員  
 吉村 SC  
 南区社会福祉協議会 小林、佐藤

【令和7年度 味方地区】 第3期南区地域福祉アクションプラン地区別計画評価表<2021~2026>

実績(取り組み内容)			
<b>推進目標1:</b> <b>支え合いのしくみづくり</b>	該当する活動を 実施した場合○	<b>推進目標 4:</b> <b>組織強化</b>	該当する活動を 実施した場合○
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の茶の間の運営に地区社協や関係団体等が支援・協力し、多世代交流などが活発に行われた。</li> <li>生活支援サービスの活動(みんなのみかた応援隊)で、通院や買い物支援を継続的に実施し、高齢者の生活ニーズに応えることができた。</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>支え合いのしくみづくり会議を定期開催し、地域活動の活性化につなげた。</li> <li>小中合同防災訓練を実施し、コミ協、自治会、学校と連携した訓練が実施できた。</li> <li>お~いよおの会の体験活動に子どものときに参加していた高校生や大学生がOBとして参加しており、次世代の地域活動の参加のきっかけとなっている。</li> </ul>	○
<b>推進目標2:</b> <b>地域共生社会の実現</b>	該当する活動を 実施した場合○	<b>推進目標5:</b> <b>PR活動</b>	該当する活動を 実施した場合○
<ul style="list-style-type: none"> <li>敬老会の欠席者(米寿)へ民生委員の見守り訪問に合わせて祝い品をお届けした。</li> <li>民生委員が学校ボランティアに協力した。</li> <li>「あじかた穀倉祭」「ふるさと納涼祭」「どんど焼き」を開催し、地域住民がふれあい、交流し、活躍する機会を創出した。</li> <li>「西白根神楽舞」「あじかた穀倉太鼓」「味方太々神楽舞」などの伝統芸能の継承を地域をあげて取り組んだ。</li> <li>子どもたちが公民館事業に参加し、豊かな活動や経験ができるよう送迎支援を行った。</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活支援サービス「みんなのみかた応援隊」の周知について、広報誌やチラシで周知を図った他、民生委員の訪問活動や生活支援コーディネーターの茶の間訪問等、あらゆる機会に声かけによる周知を行った。</li> <li>コミ協だよりや地区社協だよりなどを通じた地域活動の周知啓発により、地域の活動を住民に広く情報発信した。</li> </ul>	○
<b>推進目標3:</b> <b>地域活動の中での交流活動の推進</b>	該当する活動を 実施した場合○	<b>課題(取り組んでみての)</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域と学校パートナーシップ事業で小学生と地域の交流活動を活発に行った。</li> <li>お~いよおの会で海水浴とスキー教室を継続して開催した。</li> <li>小学校で子どもも参加する老人クラブの輪投げ大会の開催や老人会を中心に講師となって小学1年生に昔遊びを教えるなど、高齢者と子どもたちの交流を深めた。</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活支援サービスのボランティアが少しずつ増加はしているが、まだまだ十分とは言えない。移動支援の際の方が一事故の対応や保障を整えることで活動の安心につながり、ボランティア増にもつながるのではないかと。</li> <li>身近な助け合いには自治会への啓発が必要であるが、コミ協の自治部会等では議題も多く、支え合いまで伝えることができていない。</li> </ul>	
<b>評価(取組んだことの効果や成果)</b>		<b>写真(取組みの様子)</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>生活支援サービスみんなのみかた応援隊の工夫した周知や声かけにより、協力ボランティアが増えた。また、事業を継続し、地域の中に支援の形があるということで、高齢者の安心した暮らしを支える一助となった。</li> <li>多世代交流の場が充実し、住民同士のつながりが強まった。</li> <li>伝統文化継承や体験活動に取り組むことで、子どもたちの健全育成、地域の活性化につながった。</li> </ul>			
生活支援サービス みんなのみかた応援隊		ふれあいお茶の間(吉江) 多世代交流	
<b>新たな地域課題や取り組んだこと</b>		<b>次年度への引き継ぎ</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>伝統文化伝承では、新たに「味方太々神楽舞」や「味方音頭」の取り組みも復活し、さらに地域が活性化され、地域のつながりが強まる機会になった。</li> <li>昨年度より協議してきた、子どもを対象にした公民館事業などへの送迎を実施した。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>生活支援サービス「みんなのみかた応援隊」の工夫した周知を継続するとともに、移動支援等の安全・安心な活動環境を行政と連携して整え、ボランティアの確保・拡充を図る。</li> <li>身近な助け合い活動について自治会へ啓発するため、自治会長へ伝えていく機会を設ける。</li> <li>中学生の部活動の地域移行を契機に、伝統文化継承の取り組み体制を整え、さらに充実した活動を行うことで、子どもたちの地域活動への参加意識を育み、地域の活性化につなげる。</li> </ul>	

【地区別計画取り組みにあたっての評価事項】

※地域の皆さんで行った地区別計画推進についての評価となります

<確認日:令和8年2月12日>

No.	評価項目	評価
1	住民参加のもとで、地区別計画に取り組みましたか。	A
2	地区別計画に取り組むにあたり、話し合う場を設けましたか。	A
3	関係機関や団体等と連携、協働しましたか。	A
4	取り組みで、地域住民や関係機関・団体等とつながりが出来たり、活動に広がりがあったりしましたか。	A
5	取り組みに対して、成果があったと思いますか。(関心や理解を深められたか)	A
6	活動前や活動後において、地域住民や関係機関・団体に対し、周知は行いましたか。	A

評価	取り組みに対する評価(目安)
A	達成できている(90%以上)
B	一部達成できている(50%以上)
C	未達成 (50%未満)

<参加者>

味方地区コミュニティ協議会：高橋会長、皆川様、滝澤様

味方地区社会福祉協議会：堤会長、野澤事務局長

味方地区老人クラブ協議会：山崎副会長

味方地区民生委員児童委員協議会：丸山会長



味方圏域支え合いのしくみづくり推進員：仲山SC

アクションプラン推進委員：藤島委員

南区社会福祉協議会：荏原、藤田

計 11 名

【令和7年度 月潟地区】第3期南区地域福祉アクションプラン地区別計画評価表<2021~2026>

実績(取り組み内容)			
<b>推進目標1:</b> <b>支え合いのしくみづくり</b>	該当する活動を実施した場合○	<b>推進目標3:</b> <b>地域活動への住民の参画推進</b>	該当する活動を実施した場合○
<ul style="list-style-type: none"> <li>健康トークショーの開催</li> <li>月潟地区敬老会の実施</li> <li>福祉と健康のつどいの開催</li> <li>地区社協と民生委員協働での安心箱の配布の実施</li> <li>つきがた便利帳の配布</li> <li>南天の会による給食サービスの実施</li> <li>茶の間で体しゃっきり体操の普及活動</li> <li>支え合いのしくみづくり周知のための防災グッズ</li> <li>支え合いに関するアンケートの実施</li> <li>移動茶の間「ふれあい茶ろん」の開催</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境美化活動の実施</li> <li>月潟地区防災訓練の実施</li> <li>茶の間3カ所で世代間交流の実施</li> <li>北海道月形町との交流事業として物産販売会の開催</li> <li>介護予防ができる地域の茶の間「ノルディック月潟」の新設</li> </ul>	○
<b>推進目標2:</b> <b>地域共生社会の実現</b>	該当する活動を実施した場合○	<b>推進目標4:</b> <b>情報発信</b>	該当する活動を実施した場合○
便利帳配付を介して <ul style="list-style-type: none"> <li>民生委員と自治会長とで見守りが必要な方の情報共有</li> <li>月潟南天の会と民生委員の情報共有(必要時)</li> <li>相談機関の周知</li> <li>移動茶の介護施設での開催</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>つきがた便利帳で区内のサービスの紹介</li> <li>月コミ通信の発行</li> <li>地区社協だよりの発行</li> <li>住民バスだよりの発行</li> </ul>	○
<b>課題(取り組んでみての)</b>	<b>写真(取組みの様子)</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>避難行動要支援者名簿は共有が難しいため、班ごとに意見を聞きながら名簿を作成しその過程で、日常的にゆるやかな支え合いにつなげたい。</li> </ul>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>自治会長と民生委員との情報共有</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>月潟福祉と健康のつどい 駐在所のお話</p> </div> </div>		
<b>評価(取組んだことの効果や成果)</b>	<b>新たな地域課題や取り組んだこと</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>月潟福祉と健康のつどいでは、食生活改善推進員による栄養講話に加えて、講師より認知症の理解や予防について学ぶことができ、コグニサイズの体験では楽しみながら認知機能維持の方法に気づきを得られた。また、月潟地区で活動している各団体から協力を得て、会場を盛り上げてもらったことは大きな成果。</li> <li>支え合いのしくみづくりを周知する際に、防災グッズも併せて配付したことで、住民の関心を高めることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者施設の地域交流室で月潟ふれあい茶ろんを開催し、施設利用者と地域住民との交流につながった。</li> <li>自治会長と民生委員との情報共有の場づくりについては、アクションプラン推進員と支え合いのしくみづくり推進員が声掛けを行い、順次実施している</li> </ul>		
	<b>次年度への引き継ぎ</b>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治会長と民生委員との情報共有の場の提供</li> <li>住民バスがオンデマンドタクシーへ移行することについては、説明会の開催を要望し、まずは役員が内容を理解し、そのうえで利用者からの理解も進めていきたい。</li> </ul>		

【地区別計画取り組みにあたっての評価事項】

※地域の皆さんで行った地区別計画推進についての評価となります

<確認日:令和 8 年 2 月 12 日>

No.	評価項目	評価
1	住民参加のもとで、地区別計画に取り組みましたか。	A
2	地区別計画に取り組むにあたり、話し合う場を設けましたか。	A
3	関係機関や団体等と連携、協働しましたか。	A
4	取り組みで、地域住民や関係機関・団体等とつながりが出来たり、活動に広がりがあったりしましたか。	A
5	取り組みに対して、成果があったと思いますか。(関心や理解を深められたか)	A
6	活動前や活動後において、地域住民や関係機関・団体に対し、周知は行いましたか。	A

評価	取り組みに対する評価(目安)
A	達成できている(90%以上)
B	一部達成できている(50%以上)
C	未達成 (50%未満)

<参加者>

コミュニティ協議会:金子会長  
 地区社会福祉協議会:角田会長  
 南天の会:渡辺 様(ボランティア代表)  
 地域福祉アクションプラン推進委員:小武内様  
 支え合いのしくみづくり推進員:泉田様  
 南区社協:藤田、荏原

計 7 名